

## 鬼首地熱発電所 環境監視結果（2023年度）

「鬼首地熱発電所設備更新計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2023年度の環境監視（発電所運転中）の結果は、以下の通りです。

- 大気環境（硫化水素測定結果）  
発電所構内の計6地点（5回/年）の硫化水素測定における地点毎の平均値は0.03～0.27 ppmとなり、工事開始前と大きな変化がないことを確認しました。
- 水環境（温泉：温度、湧出量、泉質（水素イオン濃度、電気伝導度））  
周辺温泉3地点の温度、湧出量、泉質に、大きな変化は生じませんでした。
- 動物（重要な種及び注目すべき生息地：クマタカの生息・繁殖）  
クマタカの営巣期（令和5年1月～7月）の定点観察調査において、忌避行動等の発電所運転の影響が疑われる行動は認められていないことを確認しました。  
定点観察では、計27回の飛翔を確認し、2つがいの生息を確認しました。  
いずれのつがいについても発電所近隣の発電所側の斜面に見える木には営巣していないことを確認しました。
- 景観（景観資源の状況）  
景観資源の片山地獄及びその周辺において、定点の写真撮影を行い工事開始前と変化がないことを確認しました。
- 産業廃棄物（産業廃棄物：廃棄物の処理状況）  
発電所運転に伴う産業廃棄物は、金属くず、廃プラスチック類等が13トン発生し、5トンを有効利用、8トンを処分しました。

以 上